

研究発表大会プログラム

口頭発表

- (1)発表時間は、質疑応答を含めて1題につき12分以内です(質疑応答2分間を含む)。なお、発表時間には発表者の交代に要する時間を含みます。
- (2)使用機器は液晶プロジェクターです。
- (3)Microsoft PowerPoint 2016をインストールしたパソコン(OSはMicrosoft Windows 10のみ)を大会実行委員会で用意します。各自で、事前にWindows 10上のPowerPoint 2016で発表のファイルが正しく動作することを確認して下さい。
- (4)口頭発表のファイルをUSBメモリーに保存し、持参して下さい。なお、ファイルは、あらかじめご自身で必ずウイルスチェックを行っておいて下さい。また、ファイル容量を可能な限り小さくして下さい。
- (5)口頭発表のファイルは、次の時刻までに研究発表会場の受付に持参して下さい。その場で動作確認後、USBメモリーをお返しします。
 - ・10:30までの発表: 当日の09:00まで
 - ・10:30-11:54の発表: 当日の10:00まで
 - ・13:30-15:06の発表: 当日の13:00まで
 - ・15:06以降の発表: 当日の14:30まで
- (6)ファイル名は、「講演番号(半角)_名字(漢字あるいは外国人はアルファベット)」として下さい(“_”は半角のアンダースコアです)。
- (7)講演では演者ご自身にパソコンを操作していただきます。

11月26日(土)

海況・漁況

01. 09:30-09:42 沿岸親潮流量の変動に伴う陸棚域の海洋構造の変化
○日下 彰・清水勇吾(水産機構中央水研)・佐藤 充(道総研釧路水試)・吉田次郎(海洋大科)
02. 09:42-09:54 黒潮強流帯とその周辺域の水溫長期変化の季節特性
○山崎恵市・清水勇吾(水産機構中央水研)・奥西 武(水産機構東北水研)・瀬藤 聡・廣江 豊・日下 彰(水産機構中央水研)
03. 09:54-10:06 人工衛星海色資料に基づく黒潮内側域春季ブルームの経年変化
○清水勇吾・亀田卓彦・瀬藤 聡・日高清隆(水産機構中央水研)・村上 浩(JAXA)
04. 10:06-10:18 親潮域春季ブルームに対する沿岸親潮水の寄与
○黒田 寛(水産機構北水研/水産機構中央水研)・戸谷夕子・桑田 晃・長谷川大介・渡辺 剛(水産機構東北水研)・谷内由貴子(水産機構北水研)

05. 10:18-10:30 秋季の北海道東部太平洋沿岸域における海洋環境と植物プランクトンの高解像度モニタリング
○谷内由貴子(水産機構北水研)・黒田 寛(水産機構北水研/水産機構中央水研)・高橋大介(水産機構北水研)・笥 茂穂・渡辺 剛(水産機構東北水研)・葛西広海(水産機構北水研)
06. 10:30-10:42 高解像度海洋循環モデルによって再現される日本周辺海域の海況変動
○高橋大介・黒田 寛(水産機構北水研)・瀬藤 聡(水産機構中央水研)
- 10:42-10:54 休憩
07. 10:54-11:06 ADCP 偏流データを用いた日本周辺海域の地衡流場の検証
○謝 旭暉(JAFIC)
08. 11:06-11:18 黒潮域における水平拡散係数の実態について
○小松幸生(東大院新領域)・廣江 豊(水研機構中央水研)
09. 11:18-11:30 有明海におけるHFレーダを用いた海面塩分推定の試み
○青木一弘(水産機構中央水研)・片岡智哉(東理大理工)・多治見誠亮(熊本水研セ)
10. 11:30-11:42 海洋環境からみた対馬海域における藻場分布状況の検討
○山本光夫(東大海洋アライアンス)・竹茂愛吾(東大大気海洋研)・劉 丹(有明高専)・木村伸吾(東大院新領域/東大大気海洋研)
11. 11:42-11:54 黒潮栄養塩環境の海域特性
○齊藤宏明(東大大気海洋研)・梅澤 有(長大水)・野崎 龍(東大大気海洋研)・橋濱史典(海洋大科)・福田秀樹・小川浩史・小畑 元(東大大気海洋研)

11:54-13:30 休憩

12. 13:30-13:42 中国近海における主要頭足類の資源状況及び気候変化の影響
○田 永軍・龐 雨萌・唐 衍力・任 一平・万 榮(中国海洋大)
13. 13:42-13:54 西部山陰沿岸のマアジ漁場の特徴
○渡辺俊輝(山口水研セ)・謝旭暉(JAFIC)・種子田雄(水産機構西海水研)
14. 13:54-14:06 2013-2014年の宮崎県内の定置網におけるハリセンボン入網と海洋環境との関係
○渡慶次 力・西口政治・中村充志・長野昌子(宮崎水試)
15. 14:06-14:18 沿岸漁業(自由漁業)の漁場形成機構解明への一提言
高口俊之・○爲石日出生(JAFIC)

プランクトン・卵稚仔

16. 14:18-14:30 東京湾における浮遊性カイアシ類の鉛直分布

- 伊東 宏(水土舎)・立花愛子(東大大気海洋研)・石丸 隆(海洋大科)
17. 14:30-14:42 犬吠埼沖の低次生産機構と黒潮続流域への影響
○日高清隆・上村泰洋・寒川清佳(水産機構中央水研)・小埜恒夫(水産機構国際水研)・小松幸生(東大大気海洋研)
18. 14:42-14:54 産卵調査におけるプランクトンネットの濾水率変動:目詰まりか超過流入か?
○高須賀明典(水産機構中央水研)・田所和明・岡崎雄二・市川忠史(水産機構東北水研)・杉崎宏哉(水産機構中央水研)・黒田 寛(水産機構北水研)・大関芳沖(水産機構本部)
19. 14:54-15:06 北海道沖日本海で採集されたホッケ仔稚魚の成長の年変動と水温の関係
○鈴木祐太郎(道総研稚内水試)・城 幹昌(道総研栽培水試)・藤岡 崇(道総研函館水試)
- 15:06-15:18 休憩
20. 15:18-15:30 粒子追跡実験から推定した黒潮域・移行域・親潮域におけるカタクチイワシ仔魚の由来
○林 晃(水産機構西海水研/東大大気海洋研)・伊藤幸彦(東大大気海洋研)・後藤常夫(水産機構日水研)・高橋素光(水産機構西水研)・渡邊良朗(東大大気海洋研)
21. 15:30-15:42 東シナ海におけるカタクチイワシの卵分布と環境要因
○北島 聡・長谷川 徹(水産機構西海水研)・伊藤進一(東大大気海洋研)・米田道夫(水産機構瀬水研)・林 晃・高橋素光・清本容子・山田東也・西内 耕(水産機構西海水研)
22. 15:42-15:54 混合水域における 1970 年代から 1990 年代のイワシ類仔稚魚の食性
○岡崎雄二・田所和明・市川忠史(水産機構東北水研)
23. 15:54-16:06 北赤道海流域におけるレプトセファルス幼生の分布動態に関する研究
○恩田拓堯(東大大気海洋研/東大院新領域)・竹茂愛吾(東大大気海洋研)・三宅陽一(東大大気海洋研/東大院)・MJ Miller(日大生物資源)・黒木真理(東大院農)・青山潤・木村伸吾(東大大気海洋研/東大院新領域)
24. 16:06-16:18 シラスウナギの接岸回遊における黒潮暖水波及の利用
○三宅陽一(東大院新領域/東大大気海洋研)・竹茂愛吾(東大大気海洋研)・板倉 光(神戸大院理)・吉田 彰(静岡水技研)・木村伸吾(東大院新領域/東大大気海洋研)

魚類 I

25. 16:18-16:30 対馬暖流域におけるニホンウナギ自然分布の可能性
○米田彬史(東大院農/東大大気海洋研)・板倉 光(神戸大院理)・荒井考磨(東大院新領域/東大大気海洋研)・海部健三(中大法)・木村伸吾(東大院新領域/東大大気海洋研)

26. 16:30-16:42 ウナギ属魚類の分布生態学的研究
○荒井考磨(東大院新領域/東大大気海洋研)・板倉 光(神大院理)・米田彬史(東大院農/東大大気海洋研)・吉永龍起(北里大海洋生命)・海部健三(中大法)・木村伸吾(東大院新領域/東大大気海洋研)
27. 16:42-16:54 安定同位体比分析に基づく北赤道海流域におけるニホンウナギ幼生の分布特性
○木村伸吾(東大院新領域/東大大気海洋研)・宮崎幸恵(リクルート)・北川貴士(東大大気海洋研)・三宅陽一(東大院新領域/東大大気海洋研)

宇田賞受賞記念講演

- 17:15-18:00 岩手県の沿岸漁業における東日本大震災からの復旧・復興に関する研究
後藤友明(岩手水技セ;現所属:岩手大三陸水研セ)

懇親会

- 18:30-20:30 東京海洋大学品川キャンパス 楽水会館

11月27日(日)

魚類 II

28. 09:30-09:42 丹後海におけるヒラメの個体群識別への耳石安定同位体比の利用
○筒井 舞・木村伸吾(東大新領域/東大大気海洋研)・澤田英樹・鈴木啓太・山下 洋(京大フィールド研)
29. 09:42-09:54 北太平洋におけるサンマ回遊指標としての窒素安定同位対比($\delta^{15}\text{N}$)の有用性
○富士泰期・宮本洋臣・巢山 哲(水産機構東北水研)・中神正康(水産機構本部)・木所英昭(水産機構東北水研)
30. 09:54-10:06 黒潮流域におけるメジナ属の再生産機構
○伊藤 洸・飯野祐大(日大生物資源)・山本智子(鹿大水)・黄 銘志(台南大生科)・鈴木美和・朝比奈潔・糸井史朗・中井静子・間野伸宏・杉田治男・高井則之(日大生物資源)
31. 10:06-10:18 イソフエフキは満月を避けて産卵する?
○秋田雄一(沖縄水海技セ石垣)・太田 格(沖縄水海技セ)・海老沢明彦(沖縄水海技セ石垣)・灘岡和夫・Lawrence Patrick C. Bernardo・中村隆志(東工大)
32. 10:18-10:30 マサバ太平洋系群モデルのパラメータの推定
○郭晨穎・伊藤進一(東大大気海洋研)・上村泰洋・由上龍嗣・渡邊千夏子(水産機構中央水研)・Kathryn A. Dickson(カリフォルニア州立大学)

沿岸資源

33. 10:30-10:42 Ecopathによる瀬戸内海東部の生態系構造の解明
○山本昌幸(香川水試)・大美博昭(大阪環農水研)・笠井亮秀(北大院水)
10:42-10:54 休憩
34. 10:54-11:06 食物網解析モデルによる人工藻場造成にともなう漁業的価値評価の試み
○山本民次(広大院生物圏)・宮田康人(JFE スチール)
35. 11:06-11:18 舞鶴湾におけるマアジの環境 DNA 分布に関する数値実験
○尹 錫鎭・笠井亮秀(北大院水)・山本哲史・源 利文(神戸大院人間環境)・南 憲
吏・宮下和士(北大北方セ)・益田玲爾(京大舞鶴水実)・近藤倫生(龍谷大理工)
36. 11:18-11:30 豊予海峡周辺海域におけるマアジ親魚の資源量推定
○中尾拓貴(大分水研)・斉藤真美(水土舎)
37. 11:30-11:42 浮魚調査におけるマルチビーム計量魚探機の活用について
○安部幸樹・松裏知彦(水産機構水工研)・安田十也(水産機構西海水研)
38. 11:42-11:54 ナローマルチビームソナーによるアマモ現存量推定の試み
○浅田みなみ(東大院農)・佐々修司・濱名正泰・小松輝久(東大大気海洋研)
11:54-13:30 休憩
39. 13:30-13:42 東京湾で採集されたタチウオ卵と仔魚
○岡部 久(神奈川水技セ)・斉藤真美(水土舎)
40. 13:42-13:54 沖縄サンゴ礁域で漁獲される藻類食魚類の生態的機能
○太田 格・上原匡人・海老沢明彦(沖縄水海技セ)
41. 13:54-14:06 南伊豆海域におけるアワビ類加入量の変動
○長谷川雅俊(静岡水技研伊豆)・伊藤 円(静岡県水産資源課)・山田博一(静岡水技
研深層水科)・高木康次・鈴木勇己(静岡水技研伊豆)

沖合資源・その他

42. 14:06-14:18 レジームシフトと魚類成長
○伊藤進一(東大大気海洋研)・Kenneth Rose(ルイジアナ州立大)・Bernard
Megrey(NOAA)・Jake Schweigert(DFOCanada)・Douglas Hay(DFOCanada)・Francisco
Werner(NOAA)・相田真希(JAMSTEC)
43. 14:18-14:30 マサバ太平洋系群の成長速度低下に対する生息水温の低水温化仮説
○多賀 真(茨城水試/京大フィールド研)・加藤正人(千葉水研セ)・山下 洋(京大
フィールド研)
44. 14:30-14:42 紀伊半島沖における春季カツオの組成群解析と経年変動にあらわれる段
階的变化の検出
○竹内淳一(元和歌山水試)・山川 卓(東大院農)

45. 14:42-14:54 クサカリツボダイ仔魚の回遊経路と海洋環境との関係
○米崎史郎・増島雅親・岡崎 誠・宮本麻衣・清田雅史(水産機構国際水研)・奥西武(水産機構東北水研)
- 14:54-15:06 休憩
46. 15:06-15:18 九州西部海域におけるハダカイワシ科2魚種の分布の年変動と海洋環境
○大島慎也(北大院水)・安田十也(水産機構西海水研)・福若雅章(水産機構北水研)・小出凜太郎(北大院水)・安部幸樹(水産機構水工研)・安間洋樹(北大院水)
47. 15:18-15:30 天皇海山海域におけるキンメダイの年齢査定および成長曲線の推定
○高橋侑大(海洋大科)・西田一也・米崎史郎・宮本麻衣・村上知里(水産機構国際水研)・清田雅史(海洋大科/水産機構国際水研)
48. 15:30-15:42 春季鹿児島県海域に出現する流れ藻の起源推定
○水野紫津葉(東大大気海洋研)・宍道弘敏(鹿児島水技セ)・小松輝久(東大大気海洋研)
49. 15:42-15:54 福井県小浜湾における浅海域の海底湧水環境
○富永 修・北川勝博・竹内優・石井建祐・杉本 亮(福井県大)・小林志保(京大フィールド研)・小路 淳(広大院生物圏)・山田 誠・本田尚美・谷口真人(地球研)
50. 15:54-16:06 福井県小浜湾における浅海域のメイオベントス相に及ぼす海底湧水の影響
○北川勝博・杉本 亮(福井県大)・小林志保(京大フィールド研)・小路 淳(広大院生物圏)・山田 誠・本田尚美・谷口真人(地球研)・富永 修(福井県大)
51. 16:06-16:18 人工リーフの波・流れ場が二枚貝資源の生残に及ぼす影響
○瀬戸雅文(福井県大)・巻口範人(道栽培公社)
52. 16:18-16:30 松島湾におけるマガキ採苗不良のメカニズム
○笥 茂穂・神山孝史(水産機構東北水研)・阿部博和(東邦大)・花輪正一・太田裕達(宮城水技セ)・松浦 良(宮城内水試)・押野明夫(気仙沼水試)

若手優秀講演賞表彰式

16:45-17:00

ポスター発表

ポスター掲示期間：11月26日9:00から27日16:30

発表者立会説明：11月26日, 27日 12:20-13:20

(1) A0サイズのポスターを貼り付けられる縦型パネル(幅90cm, 高さ120cm)と画鋏などを用意します。

(2) ポスターの貼り付けは11月26日(土) 09:00から可能です。

(3) 11月26日(土) 12:20-13:20(奇数の講演番号)と11月27日(日) 12:20-13:20(偶数の講演番号)の間は、立会説明をお願いします。

(4) 11月27日(日) 16:30までに各自で撤収して下さい。これ以降に残されたポスターは、実行委員会で処分します。

P01 河川供給に伴う日本海における栄養塩動態に対する影響評価

○柴野良太(愛媛大 CMES)・森本昭彦(愛媛大 CMES)・高山勝巳(九大応力研)・伊藤雅(水産機構日水研)

P02 大分県猪串湾における海底湧水の空間分布と湧出量の評価

○西村碩教・杉本 亮(福井県大)・宮村和良・大竹周作(大分水研)

P03 日本南方域における卵稚仔粒子追跡

○瀬藤 聡(水産機構中央水研)

P04 三陸～道東海域における近年のマイワシ漁況と海況

○渡邊一功・松尾 豊・森 泰雄(JAFIC)

P05 日本海北部沿岸における水温構造と底魚分布との関係

○藤原邦浩・養松郁子・阿部祥子・和川 拓・井桁庸介(水産機構日水研)・甲本亮太(秋田水振セ)・池田怜(新潟水海研)

P06 若狭湾における ADCP の音響散乱強度の季節変化と漁況の関連性

○吉川泰広・兼田淳史(福井県大)・鮎川航太(福井水試)

P07 日向灘で漁獲されるブリの年齢組成と全国のブリ資源との関係について

○西口政治(宮崎水試)・亘 真吾(水産機構中央水研)

P08 春季の道東太平洋海域に分布するスケトウダラ稚魚について

○志田 修・板谷和彦・稲川 亮(道総研釧路水試)・武藤卓志(道総研函館水試)・黒田 寛・船本鉄一郎(水産機構北水研)

P09 相模湾におけるヨシキリザメの年齢と成長に関する研究

○生井沢知佳・根本雅生・上嶋紘生・宮崎唯史・吉田次郎(海洋大科)

P10 歴史的文献にみるマグロ漁業の変遷

○羽根由里奈(東大院新領域/東大大気海洋研)・竹茂愛吾(東大大気海洋研)・三宅陽一・木村伸吾(東大院新領域/東大大気海洋研)

- P11 宗谷海峡における海底の環境傾度とミズダコの摂食状況との関係
○佐野 稔(道総研稚内水試)・坂東忠男(宗谷漁協)・板谷和彦(道総研釧路水試)・邵花梅・南 憲吏(北大院水)・宮下和士(北大北方セ)
- P12 北海道沿岸オホーツク海におけるスケトウダラの年齢と成熟
○山下夕帆・田中寛繁・船本鉄一郎(水産機構北水研)・渡邊一功(JAFIC)
- P13 鶴川におけるシシャモの 河川遡上予測
○岡田のぞみ・嶋 孝寛・石田良太郎・石田宏一(道総研栽培水試)・工藤 智(道総研さけます内水試)
- P14 石川県沿岸の定置網によって漁獲される魚類相の変遷とその要因
○原田浩太郎(石川水総セ)
- P15 東京湾におけるイシガレイの生物情報の整理
○石井光廣・梶山 誠(千葉水研セ)・片山知史(東北大院農)
- P16 相模湾で漁獲されたマアジの体長組成と年齢について
○高村正造(神奈川水技セ相模湾)・渡邊千夏子・西村 明・武邑沙友里(水産機構中央水研)
- P17 瀬戸内海中央部におけるトラフグ親魚の成熟について
○平井慈恵(水産機構瀬水研)・赤井紀子(香川水試)・竹本浩之(岡山水研)・沖田光玄・片町太輔(水産機構瀬水研)
- P18 日本周辺に生息するツチクジラ分布域の季節的推移
○金治 佑・佐々木裕子・南川真吾・宮下富夫(水産機構国際水研)
- P19 北海道日本海海域におけるオットセイの漁業被害実態について (予報)
○和田昭彦(道総研中央水試)・後藤陽子・堀本高矩(道総研稚内水試)
- P20 海底湧水が魚類の出現に与える影響～水中カメラで撮影された画像の解析から
宇都宮達也(広大院生物圏科)・杉本 亮・富永 修(福井県大)・本田尚美・山田 誠(地球研)・小林志保(京大フィールド研)・谷口真人(地球研)・○小路 淳(広大院生物圏科)
- P21 北太平洋表層域における高次捕食者の食性比較
○村上知里・米崎史郎・清田雅史(水産機構国際水研)
- P22 長崎県対馬・五島における海洋保護区制度による漁場環境保全
○清野聡子・會津光博・坂本 峻・井上晃輔(九大工)